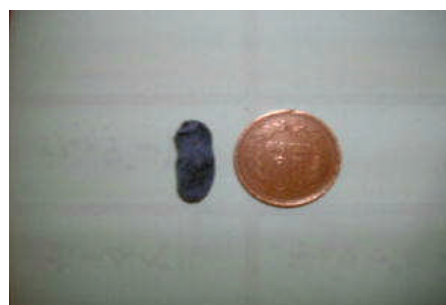


埼玉県の中山間地域でも栽培可能な ハスカップ「スイベル」の増殖法

ハスカップは北海道に自生する果樹です。ビタミンA・B・C・E、鉄分、カルシウム、カリウムなどが非常に多く含まれており、抗酸化作用が強いことから老化防止作用の効果が高いと言われています。

埼玉県では気候条件等により栽培が困難とされてきましたが、耐暑性の高い品種「スイベル」は秩父地域でも順調に生育、結実し、中山間地域の栽培に適応する有望品種であることがわかりました。

増殖法は緑枝挿し法が最も効果的（90%以上の活着率）で、短期間で大量の苗を確保することができます。



生育中のスイベルと花の画像

スイベルの結実の様子とサイズ比較

（4月上旬から花が咲き始め、5月下旬に収穫ができます。味はブルーベリーと比べ酸味が強く、ジャムやソースなどに加工されます。）



5月下旬に緑枝挿しを実施、2か月後には右の写真の様に90%以上の木で発根します。
（発根促進剤は使用していません。）